



# 公共の宿 富士ハイツ



TEL 35-2311



総合運動公園の一番東側、木々に囲まれた静かなところに富士ハイツがあります。

これは勤労者のための総合福祉センターとして、国と県、市が共同出資して建設し、昭和51年4月にオープンしました。

中には、結婚式場、会議室、客室、レストラン、茶室、プールがあり宿泊もできます。

職場の慰安旅行、同窓会、結婚式、

研修会などに幅広く利用され、最近では富士五湖めぐりの基地としても人気があります。

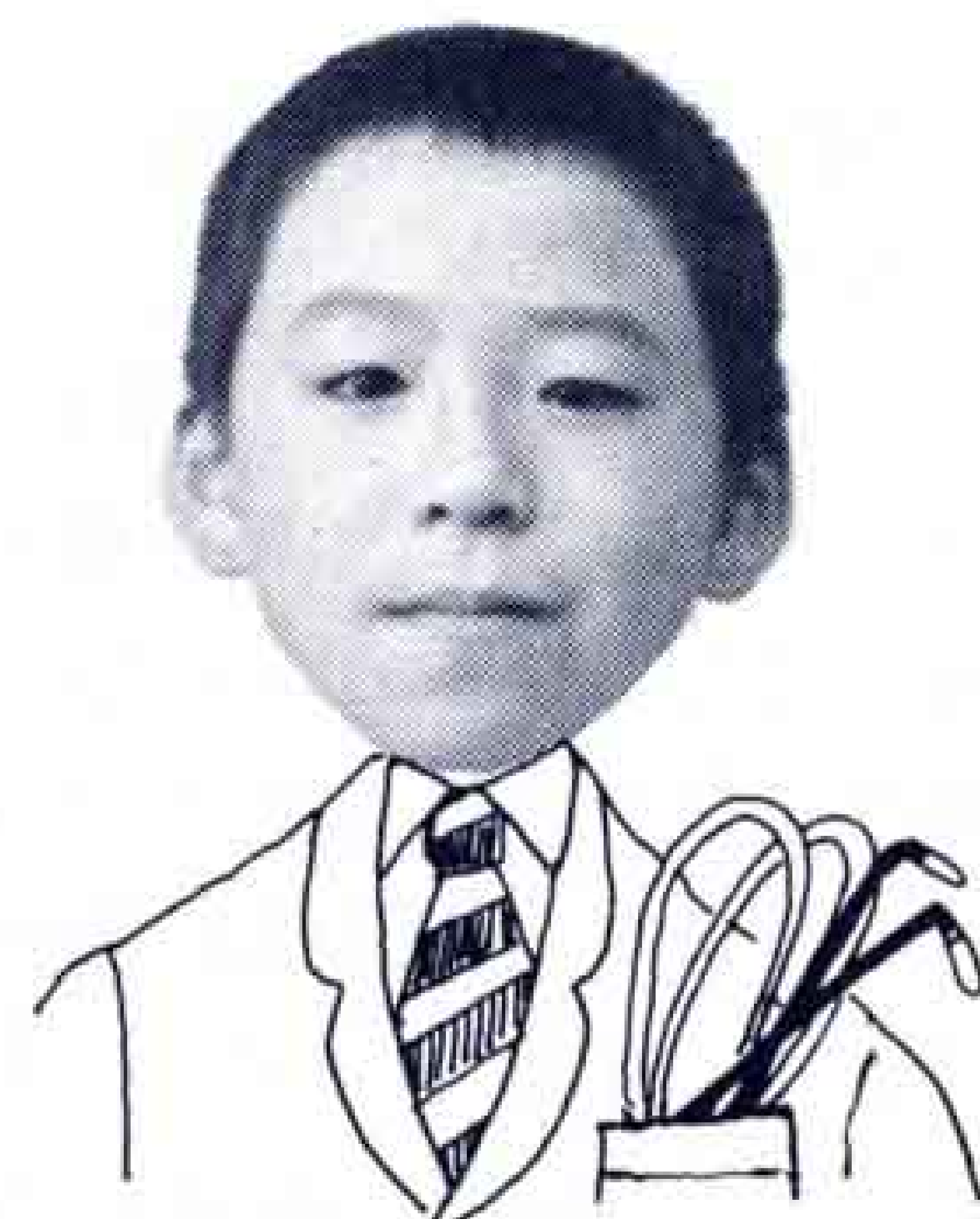
特に県外からは、窓越しに見える富士山には感銘を受けるようです。

また、富士の夜景もなかなか素晴らしいものです。

利用料金は、宿泊・結婚式なども概ね、市価の7割ぐらいで利用できます。申込みは直接富士ハイツにしてください。

# ぼくの夢 わたしの夢

お医者さんになりたいな



富士南小六年  
森下和美君

ぼくは、一生懸命勉強して、りっぱなお医者さんになりたいです。なぜかと言うと、今どこの病院に行っても、病気にかかっている人がたくさんいます。待合室は、通院かん者でいっぱいです。だから、その人達の病気やケガをみんな直してあげたいです。そして富士市は、日本で一番病気にかかっている人が少ない街にしたいと思います。

# ケーキ屋さんになって



富士南小六年  
望月早苗代さん

私は、ケーキ屋さんになって、どこのお店にも負けないくらいのおいしいケーキを作りたい。そして、世界中の困っている人たちにおなかいっぱい食べさせてあげたいなあ。

甘くて、栄養たっぷり、いつでもホカホカの作りたて。家や車や動物など注文通りの形を作る。

私の住む家はもちろん夢がいっぱいつまったケーキの家。

# ごみのおはなし



いま、小学校教育の場では私たちの時代には想像もできなかった「ごみ教育」が行われています。富士市でも今年の3月に、小学校4年生を対象とした「ごみとわたしたち」というパンフレットをつくり、各学校へわけました。これは、社会科副読本として使われますが、やがて、子供たちが社会人になったとき、ごみ問題について、現在の私たちより、もっと理解と認識をもってほしいという期待と、各家庭でも、正しいごみ処理について考えていただくために作られたものです。

—おすすめよう ごみの減量・資源化—